

学校だより



〈いよくふう〉

校訓 継続は力なり

鴻巣市立吹上中学校

学校だより「緑風」は、毎月本校HPに掲載しています。

本校HP <https://fukiage-j-konosu.edumap.jp/>

令和8年7月1日(水) 第4号

人生の節目

校長 大島 進

7月に入ります。以前にも書いた記憶がありますが、夏というと子どもにとっては、お祭りやプール、花火、そしてなんといっても長い夏休みがあり、夏は楽しいことが多いため、小さい頃から「夏＝楽しい」という感覚が大人になってからもしばらく残っていました。しかし、最近の猛暑、酷暑は、「夏＝楽しい思い出」となってしまいました。それだけ年を重ねた証拠でもあります。皆様もご自愛ください。

体育祭、修学旅行、教育委員会の訪問による授業研究会と6月は、吹上中学校でも大きな行事が続きました。体育祭の他に音楽祭など学級の団結力や友情を深める行事はありますが、まずは1学期に体育祭で、そして2学期には音楽祭でというバランスは、昨年度の吹上中学校の生徒の様子を見ても良いように感じます。一方で暑さ対策が欠かせない時代となりました。今年度からはお弁当の負担や管理、土日のスポーツクラブ等の大会との重複回避等、様々な視点から平日開催としました。また、午後に行っていた閉会式を午前中までに行うようにしました。いくつかの変更もありましたが、当日までの練習を生徒は一生懸命取り組み当日にはその成果を大いに発揮してくれました。今年も3年生が学校全体を引っ張り、その雄姿を見せてくれました。今後の学校生活に生かしてくれることでしょう。

さて、先日の出来事です。朝校門に立っていたら、久しぶりに顔見知りの方にお会いしました。以前はよくご挨拶を交わしていましたが、3月・4月は見かけない時期がありました。普段は挨拶程度で終わるのですが、久しぶりにお会いして、どうされたのかと気になっていた旨を尋ねると、その日で定年を迎え、これまではしばらく休暇を取っていたのだと話してくださいました。そして、この道を朝通ることもないと思うと寂しいとも話してくださいました。

人生は至る所に節目というものがあります。入園・卒園、入学・卒業、そして就職・退職・……。普段、何気ない景色でも最後に見納めと思えば寂しいと感じるものです。時間だけではないかもしれませんが、長い時を過ごした場所、何度も通った場所は、様々な記憶がよみがえってくることも多いのでしょう。何かが始まれば、いつか終わりが訪れますが、終わりという節目は、自分の人生の振り返りとこれからを考える上でとても大切な節目となります。校門で挨拶を交わした方の晴れ晴れとした表情をみて、自分のそう遠くない節目を想像して、

様々な思いが沸き起こりました。

吹上中学校の在校生も残りの在校期間は学年によって違いますが、卒業の日を迎えたときにどんな思いになるかは、自分の歩んでいく中学校生活によって変わるでしょうし、その後の人生も変わっていくことでしょう。



一生懸命頑張っている皆さんの1学期がもうすぐ終わります。1学期を振り返りまとめや修正をして1学期頑張れた自分を褒められるそんな7月にして良い節目を迎えてほしいと思います。